

群馬県議会 リベラル群馬

後藤かつみ

2017年 第3回 定例会報告

スマートフォンでバスの路線案内まで検索できる「信州ナビ」の事例を紹介し、情報技術を駆使した利用者の利便性向上策を提言。

街頭演説
2700日

発行	リベラル群馬 後藤かつみ事務所	http://www.ccrgoto.com/
住所	高崎市八幡町 800-24	
TEL&FAX	027-343-1393	http://www.eaglesgoto.com/ (スマートフォン用)
e-mail	ccrgoto@af.wakwak.com	

CONTENTS<9月25日 本会議一般質問>

- I 公共交通再生～「5つの公共交通軸」を提唱～
- II 山村地域再生～「移住1%戦略」を群馬で～
- III コンベンション施設計画～知事、「建設費増額しない」と明言～

公共交通再生

「5つの公共交通軸」を提唱

「5つの公共交通軸」を提唱

大澤知事の掲げる「7つの交通軸」は、県内全域に道路整備を強力に推し進める施策ですが、後藤は、新たな時代の交通軸として、「5つの公共交通軸」を提唱しています。

公共交通を軸としたまちづくりの先進地とされる富山市では、「富山市公共交通活性化計画」の中で、鉄道と主要バス路線を「公共交通軸」と位置付け、数値目標を掲げて活性化策を進めています。

群馬県においても、JR、私鉄等の路線が、県中部から概ね5方向の軸に広がっていることから、これを「公共交通軸」と位置付け、活性化策を強力に進めるべきと提言しました。

県も、「公共交通軸」という考えを取り入れ、概ね5年程度で効果が出るような利用促進のためのアクションプログラムを策定する方針を示しました。



長野県交通政策課を訪問調査

公共交通に「目を向け」させる施策

公共交通再生への根本的な政策は、車に依存しない「まちづくり」へ転換することですが、それは中長期的な視野を持って取り組まなければなりません。

一方、短期的な視点での施策として、公共交通の利便性を高めて、県民の目を公共交通に向けさせることが重要です。

バス路線をスマホで検索する時代

後藤は、本会議において、長野県の「信州ナビ」の取り組みを紹介(上写真)。

従来のスマートフォンなどの乗換案内アプリでは、鉄道の路線・時刻は検索できても、バス路線はできませんが、「信州ナビ」は県内のバス路線の検索を可能にし、例えば駅から観光地までの乗継でも、スマートフォンで瞬時に検索できる画期的なアプリを県独自に開発しています。

後藤は、本県でも、乗り継ぎ方が分からないためにバスを敬遠する方や、他県や外国からの観光誘客を進めるためにも、このような利便性の高いソフト施策が必要ではないかと提案。

県もこれに倣い、更に一歩進めて、県内の鉄道・バス路線データをインターネット上で公開し、既存の乗換案内アプリでも県内のバス路線が一発検索できるよう、次年度への事業化を進める方針です。

鉄道を軸に、「5つの公共交通軸」を提唱

群馬県が取り組む5つの鉄道交通軸 (後藤作成)

